



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和4年6月8日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
薬務水道課	生産指導監視係	青木 明日香	内線 2597 直通 058-272-8285 FAX 058-271-5731

## 「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の開始について ～若年層献血者の増加に向けた取組みの展開～

県内の10代から30代の献血者は減少傾向にあり、将来にわたって医療に必要な血液を安定的に確保するため、若年層の献血者を増やしていく必要があります。

このため、県では7月の「愛の血液助け合い運動」月間に合わせて、若年層向け献血啓発事業「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」をスタートします。

記

### ○「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の取組み

#### （1）学生と連携した献血啓発の強化

- ・献血活動に興味・関心のある高校生、大学生等が、「岐阜県学生献血ボランティア」として献血啓発活動を実施。
- ・学生から意見を聞く場を設け、学生のアイディアを取り入れた啓発活動を展開。

#### 【岐阜県学生献血ボランティアの活動】

- ・月2回、新岐阜献血ルーム周辺とマーサ21の献血会場において、献血への協力を呼びかけ。
- ・自校の学生に対する献血への協力を呼びかけ。
- ・県が開設したインスタグラムの公式アカウント「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」において、献血関連情報やメッセージ等を発信。



## (2) 公共交通機関等での啓発活動の実施

- ・若年層の献血機会を増やすため、乗降数の多いJ R岐阜駅と多治見駅での献血バスの配車を初めて実施。
- ・J R東海在来線の車内及びJ R岐阜駅に、県独自の献血啓発ポスターを掲示。その他沿線8駅の改札に献血啓発ステッカーを掲示。
- ・TOHOシネマズ岐阜（岐阜市）で、若年層に人気のある映画の上映に合わせ、献血呼びかけメッセージを配信。（7月15日～）

## (3) 若年層に献血への関心を高めてもらうための取組み

- ・県内2か所の献血ルームと献血バスの巡回会場において、岐阜県出身モデル ふるた あいり 古田 愛理さんを起用した等身大パネルの設置や県オリジナル記念品の配布による呼びかけ。
- ・県内5か所のショッピングモールにおいて献血に関するアンケートを実施し、協力者にフードチケットを配布。
- ・新岐阜献血ルームにて、若年層献血者に対してハンドケア等を実施。  
（7月、8月、12月、1月に、計12回実施予定）

### ○古田愛理さんのプロフィール

岐阜県出身の19歳

- ・女子高生に人気のファッション雑誌「Pop Teen（ポップティーン）」の専属モデルとして活躍しており、「あいりる」の愛称で10代、20代の若い世代を中心に幅広く支持・共感されるタレント。
- ・SNSの総フォロワー数は30万人を超え、10代から20代前半がフォロワーの7割を占める。

